

JICFS/IFDB

簡単登録シート Ver. 3.2（登録の手引き）

本書は JICFS/IFDB に「簡単登録シート(Excel)」で商品情報をご登録頂く方法を説明した手引書です。

令和 6 年 9 月

GS1 Japan

(一般財団法人 流通システム開発センター)

データベース事業部 JICFSグループ

商品情報をご登録頂く皆様へ

JICFS/IFDB ご登録にあたって

1. JICFS/IFDB では、商品メーカー各位が自社の商品に設定をした JAN コードをキーとして、商品情報をご登録頂いています。
2. JICFS/IFDB は、商品メーカー各位で JAN コードの設定が完了した（商品へのソースマーキングが完了した）商品情報をご登録頂くデータベースです。
3. JICFS/IFDB では、ご登録いただいた商品情報に対し、一定の基準に則って、商品名や JICFS 分類を整備しております。
4. JICFS/IFDB にご登録頂いた商品情報は、JICFS/IFDB を利用している全国の小売業や卸売業、インターネットのサービス会社等に提供されます。
5. JICFS/IFDB を利用している小売業や卸売業では、JICFS/IFDB に登録されている商品情報を利用して自社の商品マスターの整備を行っています。
6. JICFS/IFDB にご登録頂いた商品情報は、店頭での棚札（プライスカード）やレシートにも利用されるため、消費者の目に触れることになります。
7. JICFS/IFDB の商品情報は流通業で広く利用されていますので、記入要領に準拠し、正確なご登録をお願い致します。

※個人情報の取扱いについては、当財団ホームページの「個人情報保護方針」をご覧ください。

URL : https://www.gs1jp.org/personal_information.html

【目次】

I 簡単登録シートの概要	4
1. 簡単登録シートとは	4
(1)「簡単登録シート」の特徴	4
(2)「簡単登録シート」ご利用の前提	4
2. 「簡単登録シート」の入手方法	5
3. 「簡単登録シート」による登録の流れ	5
4. 送付先と送付方法	6
II 簡単登録シートの使い方	8
1. 「簡単登録シート」の構成	8
2. 簡単登録シートの利用手順	8
(1) ファイルを開く	8
(2) データ入力	10
(3) データチェック	10
(4) エラーの確認	11
(5) エラーの修正	11
(6) JICFS/IFDB への登録	12
(7) JICFS/IFDB 登録内容のご確認方法	12
3. 入力時の注意事項	13
(1) 列とシートの禁止事項	13
(2) 既存データを利用する場合の注意事項	13
(3) 使用可能な文字	13
(4) 使用できない文字	14
(5) 使用に注意が必要な文字	14
(6) システムで自動変換される文字	15
(7) システムで自動的に削除される文字	15
【別表1】JICFS/IFDB の商品情報登録に使用できる IBM 拡張文字	16
4. データチェック方法	17
(1) データのエラー確認	17
(2) チェック項目と内容	18
5. 入力説明	19
6. 更新（登録済商品情報の修正・変更）データの作成方法	31
(1) 更新データ作成上の注意	31
7. 登録に関するQ&A	32
8. 登録情報検索サービスのデータを利用する	34
(1) 登録情報検索サービスへの申し込み	34
(2) 登録情報検索サービスのログイン	36
(3) 商品情報のダウンロード	37
(4) ダウンロードしたデータを簡単登録シートに取り込む	38
添付 1: エラー番号一覧表	40
添付 2: 簡単登録シート入力項目一覧表	42

I 簡単登録シートの概要

1. 簡単登録シートとは

「簡単登録シート」は Excel (エクセル) を使って JICFS/IFDB (ジクフス/アイ・エフ・デービー) に商品情報を簡単に登録できる仕組みです。

(1)「簡単登録シート」の特徴

簡単登録シートでは、各入力項目について文字数や文字タイプ (全角/半角) 等のチェックを行っています。

- ① 登録票 (紙) の全項目に対応しています。
- ② 入力したデータについて、登録に必要な項目、内容のチェックができます。
- ③ 件数が多く、手書きの登録票で対応しきれない場合に適しています。

(2)「簡単登録シート」ご利用の前提

- ① 「簡単登録シート」は下記のバージョンの Excel でご利用いただけます。

なお、下記のサポートされているバージョンごとに、対応する Excel ファイルが用意されています。使用している Excel のバージョンに合わせたファイルをダウンロードして使用してください。

	Ver.	サポート
EXCEL	2010 以降	○ (2010 以降のバージョンは共通ファイルです)
	2007	○
	2003	○
	2000 以前	動作保証はしておりません

※ 簡単登録シートを開く際には、Excel の「マクロのセキュリティレベル」は「中」に設定しておいて下さい。

◆ Excel2003 の場合

「ツール」→「マクロ」→「セキュリティ」→「セキュリティレベル」→「中」

◆ Excel2007 の場合

「office ボタン」→「オプション」→「セキュリティセンター」→「セキュリティセンターの設定」→「マクロの設定」→「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」

◆ Excel2010 以降の場合

「ファイル」→「オプション」→「セキュリティセンター」→「セキュリティセンターの設定」→「マクロの設定」→「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」

- ② 「簡単登録シート」作成には「JICFS 分類コード」の確認が必要です。

入力する際は、以下3点をご準備ください。

- ▶ 「簡単登録シート」 (Excel)
- ▶ 「簡単登録シート 登録の手引き」 (本書)
- ▶ 「JICFS 分類基準書」 (別紙)

※JICFS 分類基準書は当財団の[ホームページ](#)からダウンロードできます。
ダウンロードのURLは「2. 「簡単登録シート」の入手方法(P.5)」をご参照ください。

2. 「簡単登録シート」の入手方法

当財団のホームページから「簡単登録シート」や「JICFS 分類基準書」のダウンロードができます。

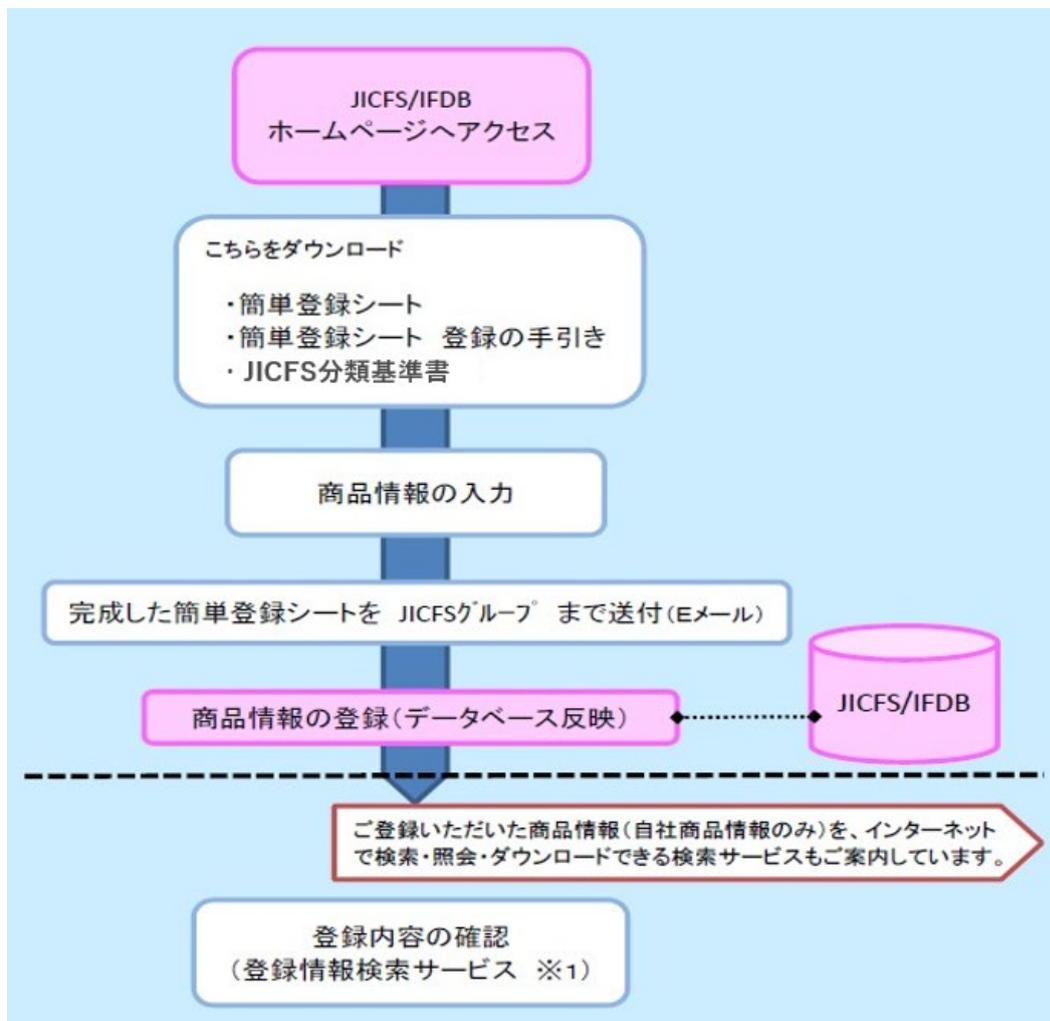
簡単登録シート

URL : <https://www.jicfs.jp/kensaku/guide.html#no5>

JICFS分類基準書

URL : https://www.gs1jp.org/assets/img/pdf/1312jicfs_bunrui-kijyunsho.pdf

3. 「簡単登録シート」による登録の流れ



※1 登録情報検索サービスについて

URL : <https://www.jicfs.jp/kensaku/>

ご登録いただいた商品情報 (自社商品情報のみ) を、インターネットで検索・照会、ダウンロードできる登録情報検索サービスをご提供しています。

また、簡単登録シートには、登録情報検索サービスからダウンロードした自社商品情報データを取り込むことも可能です。詳しくは「Ⅱ-8. 登録情報検索サービスのデータを利用する(P.34)」をご参照ください。

4. 送付先と送付方法

商品情報の入力完了した「簡単登録シート」は、以下の手順で JICFS/IFDB
コードセンター（GS1 Japan:流通システム開発センター）へお送り下さい。

① 送付先 E メールアドレス：

② メールの件名

社名を明記して下さい。

例：

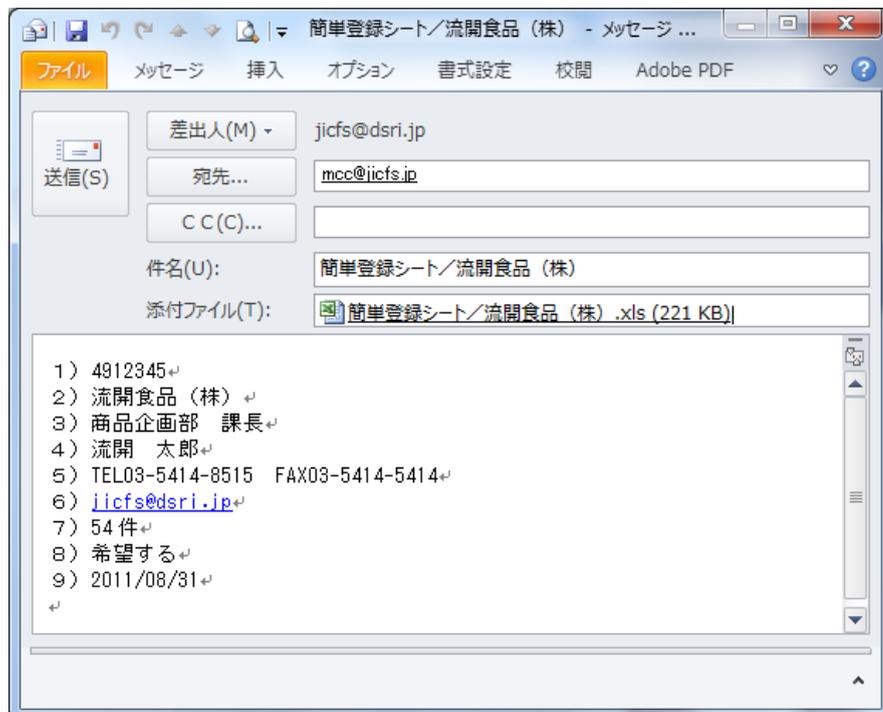
③ メール本文の内容

下記事項をメール本文に明記して下さい。

- 1) GS1 事業者コード（JAN 企業コード）
- 2) 社名
- 3) 所属・役職
- 4) 担当者名
- 5) 連絡先電話番号、FAX 番号
- 6) E メールアドレス
- 7) 登録件数
- 8) 登録情報検索サービスの利用を「希望する」または「希望しない」※¹
- 9) 送信日

※¹… 本書 5 ページ参照

④ メールサンプル



※ ファイルサイズが大きくなった場合（3MB 以上）は、圧縮ファイルで添付
して下さい。

5. お問い合わせ先

<お問合せフォーム>

<https://www.gs1jp.org/questionnaires/detail/53a705a4-d958-426b-98af-e8d134160ec7>

GS1 Japan (一般財団法人 流通システム開発センター) JICFS 担当

〒107-0052 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館9F

TEL 03-5414-8515

FAX 03-5414-8514

E-mail jicfs@gs1jp.org (簡単登録シートの送付先とは異なりますのでご注意ください)

II 簡単登録シートの使い方

1. 「簡単登録シート」の構成

「簡単登録シート」の Excel ファイルには、「入力シート」、「入力サンプルシート」があります。

- ・ 入力シート …… 商品情報を入力するシート
- ・ 入力サンプル …… 商品情報の入力見本。本書と合わせて入力サンプルを参照しながら入力して下さい。

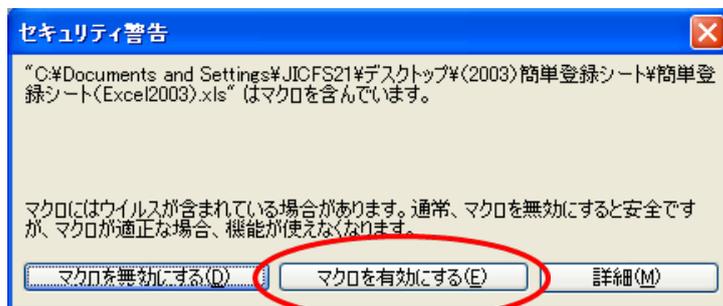
2. 簡単登録シートの利用手順

(1) ファイルを開く

簡単登録シートにはマクロによるデータチェック機能があります。ファイルを開く際、マクロを有効にするか否かのメッセージが表示されますので「マクロを有効にする」を選択して下さい。

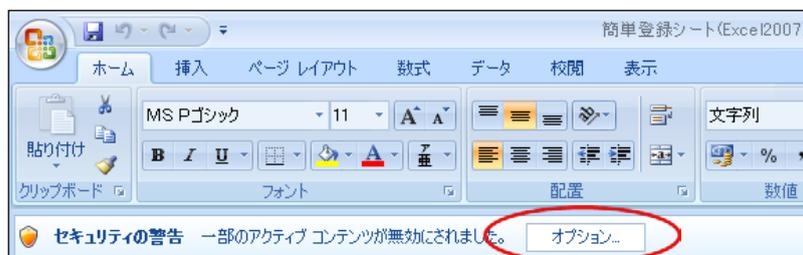
◆ Excel2003 の場合

下記メッセージが表示されたら「有効」を選択して下さい。



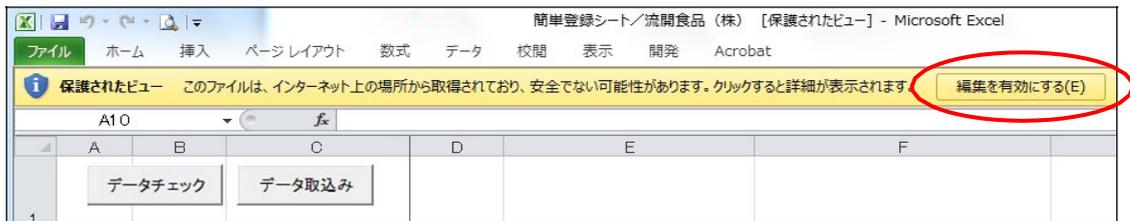
◆ Excel2007 の場合

下記メッセージが表示されたら「オプション」をクリックして「このコンテンツを有効にする」を選択して下さい。

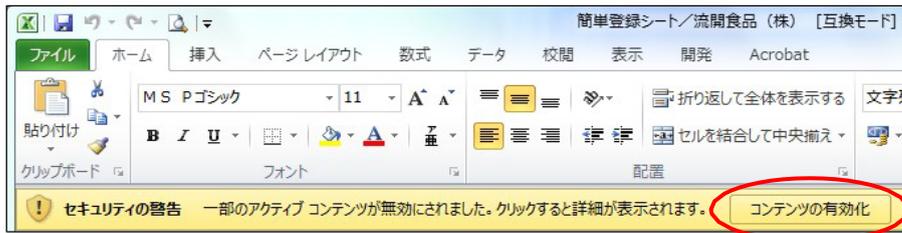


◆ Excel2010 以降の場合

下記メッセージが表示されたら「編集を有効にする」をクリックして下さい。



次に表示されるメッセージで「コンテンツの有効化」をクリックして下さい。

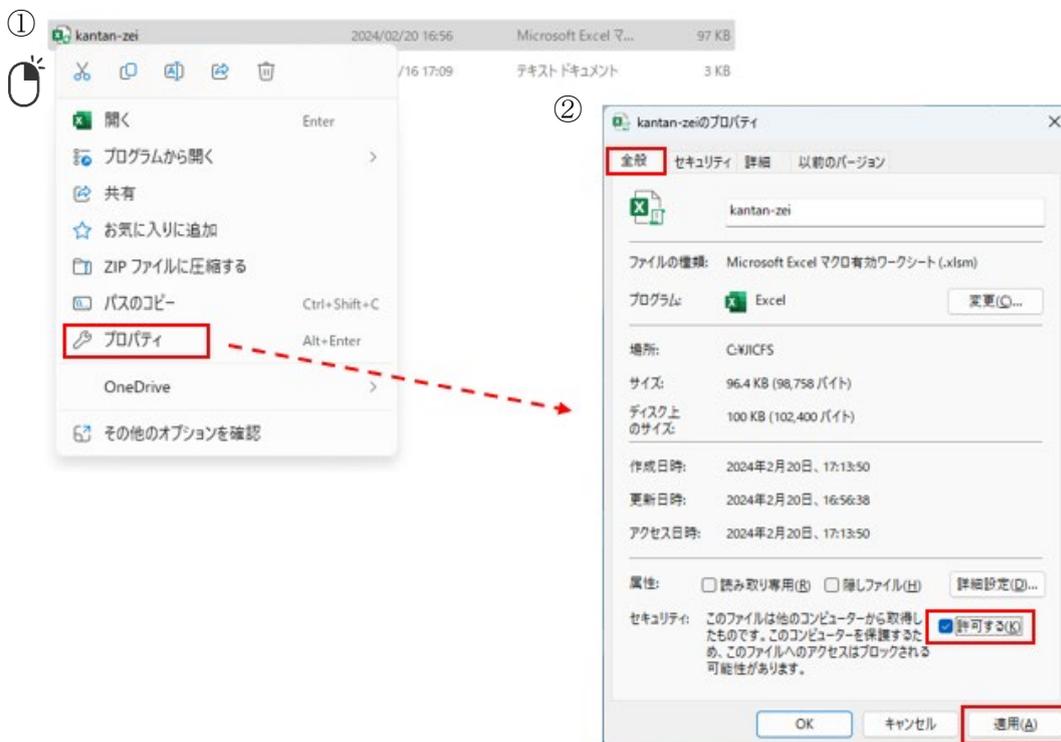


◆ 下記のようなメッセージが表示される場合



ネットワーク上からファイルを開いた場合、上記メッセージが表示されることがあります。この場合はファイルを閉じて、下記手順を行い、ファイルのアクセスを許可してください。

- ① ファイルに対して、右クリックでメニューを開き、「プロパティ」をクリックする。
- ② 開いたプロパティメニューの「全般」タブのセキュリティ項目で「許可する」のチェックを入れ「適用」ボタンをクリックする。



ご注意下さい

簡単登録シートは、当財団のホームページからダウンロードしたものであれば、ウイルスに関して問題はありません。ただし、他者から提供をうけたファイルについては安全性が確認できないので使用しないで下さい。

(2) データ入力

商品情報の入力にあたっては、本書「Ⅱ-3. 入力時の注意事項(P.13)」以降の作成要領に基づいて作成して下さい。入力シートには1商品につき1行を使用します。



<注意>

入力シートにL列：税率区分項目、M列：一体資産フラグ項目がない場合、簡単登録シートの旧フォーマットをご利用されている可能性がございます。

該当する場合は以下のURLより、簡単登録シートの最新フォーマットをダウンロードし、ご利用ください。

URL : <https://www.jicfs.jp/kensaku/guide.html#no5>

(3) データチェック

全ての項目について入力完了後、**データチェック**ボタンをクリックして入力内容の確認を行って下さい。チェックは上から順に1行ずつ行われます。

なお、チェックは1商品（1行）を入力した都度でも、全件入力後でも構いません。

	データチェック	データ取込み		
	①	②	③	
項目	データの種類	JANコード	商品区分	
入力文字	半角数字	半角数字	半角数字	
	1	8 or 12 or 13		
1		4902102030854	00	ココロ
1		4902102031806	00	ココロ
1		4902102016285	00	オシロ
1		4902102025256	00	ミニッ

必須項目が未入力の行があると、その上の行までのデータチェックを行い終了します。

(4) エラーの確認

「データチェック」ボタンをクリックすると、入力エラーがある場合には左端の項目にエラー番号が赤字で表示され、エラー該当項目も赤字で表示されます。表示されたエラー番号を巻末の「エラー番号一覧」で確認し該当項目を修正して下さい。

◆未入力の場合

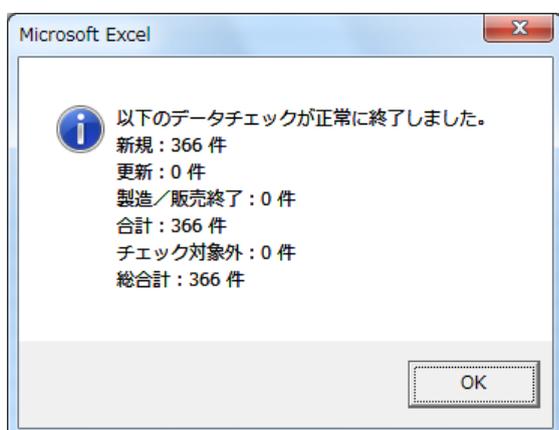
	①	②	③	④
項目	データの 種類	JANコード	商品区分	商品名 (漢字)
入力 文字	半角数字	半角数字	半角数字	全角
	1	8 or 12 or 13	2	25
10	1	未入力	00	コカコーラ Gプレミアムアブレンド
	1	4902102031806	00	コカコーラ アクエリアス 250g

◆入力データが正しくない場合

	①	②	③	④
項目	データの 種類	JANコード	商品区分	商品名 (漢字)
入力 文字	半角数字	半角数字	半角数字	全角
	1	8 or 12 or 13	2	25
20	1	4902102031806	00	コカコーラ Gプレミアムアブレンド
	1	4902102031806	00	コカコーラ アクエリアス 250g

(5) エラーの修正

本書「II-3. 入力時の注意事項(P.13)」以降の注意事項と入力説明を確認し、入力シート上でエラー項目を修正して下さい。入力した項目にエラーがない場合「データチェック」を押すと「以下のデータチェックが正常に終了しました。」のメッセージが表示されます。



＜メッセージの内訳＞	
新規に登録した商品の件数	: 366件
既登録商品の内容を更新した件数	: 0件
既登録商品のうち製造/販売が終了した件数	: 0件
チェックの対象外であるデータ件数	: 0件
上記の合計件数	: 366件

(6)JICFS/IFDB への登録

- ① エラーが表示されず、上記のメッセージが表示されたことを確認の上、入力が完了した簡単登録シートを本書「Ⅰ-4. 送付先と送付方法(P.6)」に基づいて JICFS/IFDBコードセンターまでお送り下さい。
必要に応じて電話で商品情報の内容を確認させていただく場合があります。
- ② JICFS/IFDBコードセンターに簡単登録シートが到着後、通常約2週間程度で登録が完了いたします。なお、登録内容に不備があった場合は、登録完了までにお時間を要する場合がありますことをご承知置き下さい。

(7)JICFS/IFDB 登録内容のご確認方法

JICFS/IFDB コードセンターからは登録完了等のご連絡はいたしません。当財団ホームページ上の「登録情報検索サービス」でご確認いただくことが可能です。
登録情報検索サービスをご利用いただくには、お申し込みが必要となります。

[登録情報検索サービス]

JICFS/IFDB 登録内容をインターネット上でご確認いただける「登録情報検索サービス」をご提供しております。「登録情報検索サービス」を利用いただくためには JICFS/IFDB コードセンターが発行するID、パスワードが必要です。
ご利用を希望される場合は、簡単登録シートを当財団にお送りいただく際に併せてお申込み下さい。詳しくは「Ⅱ-8. 登録情報検索サービスのデータを利用する(P.34)」をご参照ください。

3. 入力時の注意事項

(1) 列とシートの禁止事項

データチェック機能と JICFS/IFDB への取り込みに支障を来すため、下記の操作は行わないで下さい。

- ① 列の位置の変更や削除。
- ② 列の項目名を追加・変更する。
- ③ セルの書式設定を変更する
- ④ シートを追加もしくは削除する。
- ⑤ シート名を変更する。

(2) 既存データを利用する場合の注意事項

パソコンで管理している既存の商品マスターから簡単登録シートにデータを貼り付ける場合には、「値」だけを貼り付けるようにして下さい。（「形式を選択して貼り付け」で「値」をチェック）

(3) 使用可能な文字

① 「全角」文字の項目（「商品名（漢字）」など）

ひらがな、カタカナ、英字、算用数字（0～9）、漢字・記号 が使用できます。

なお、漢字・記号は、以下のものが使用できます。但し、IBM 拡張文字は、利用するユーザー企業の環境によっては正しく表示されない場合があります。

- 1) JIS 第一・第二水準の文字
- 2) IBM 拡張文字（16 ページ【別表 1】に該当する文字）

【IBM 拡張文字の例】

- 「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」等のローマ数字
- 「高」「珉」「菇」等の漢字

② 「半角」文字の項目（「商品名（カナ）」など）

カタカナ、英字、数字（0～9）を使用できます。なお、「半角数字」としてある項目は半角数字のみ使用できます。半角カタカナ、半角英字は使用しないで下さい。

(4)使用できない文字

使用できない文字が入力されていた場合、JICFS/IFDB側で代替文字へ置き換える等、修正をさせていただきます。

① 「全角」文字の項目（「商品名（漢字）」など）¹

1) JIS 第三・第四水準漢字は使用できません。

例：「吉吉」 「夙」 「飩」 など

2) 丸囲み数字・文字は使用できません。

例：「①、②、③」（丸囲み数字）や「㊤、㊦、㊧」（丸囲み文字）など

3) 1文字で表される単位記号文字は使用できません。

例：「㏍」「㏎」や「mm」「cm」「mg」「kg」など

4) 自社のシステム内に、独自に字形を登録した「外字」は使用できません。

(5)使用に注意が必要な文字

① 「全角」文字の項目（「商品名（漢字）」など）

IBM 拡張文字は使用できますが、ユーザー企業の環境によっては正しく表示されない場合があります。

② 「半角」文字の項目（「商品名（カナ）」など）

半角カナの濁音、半濁音は「清音1文字」と「濁音・半濁音記号1文字」の2文字としてカウントします。

例) ヒ゜

ヒ	゜
---	---

 ジ゜

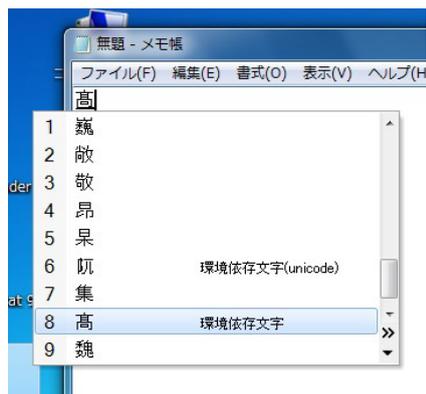
ジ	゜
---	---

¹ 使用したい漢字が JIS 第一・第二水準あるいはIBM 拡張文字のいずれかに該当するか否かは、以下の URL でチェックできます。https://www.gsljp.org/database_service/jicfsifdb/mojicheck.html

【参考】

漢字変換をする際に、下図の様に、漢字変換候補の一覧に「環境依存文字」あるいは「環境依存文字(unicode)」と表示されている文字は、それぞれ以下のものに該当します。

- ① **環境依存文字**：【別表 1】に記載されている文字は使用できますが、ユーザー企業の環境によっては正しく表示されない場合があります。
【別表 1】に記載のない文字は**使用できません**。
- ② **環境依存文字 (unicode)**：JIS 第三・第四水準文字です。**使用できません**。



(6) システムで自動変換される文字

商品名 (カナ)、POS レシート名 (カナ) において、以下の文字は登録時に自動的に変換されます。

種類	変換前	変換後
アルファベット	a ~ z (小文字)	A ~ Z (大文字)
半角カナ	ツヤユヨ (促音・拗音)	ツヤユヨ (直音)
半角記号	ー (長音記号)	- (マイナス)

(7) システムで自動的に削除される文字

各項目内に、TAB 文字や改行文字 (コード) が含まれていた場合、登録時に自動的に削除されます。

【参考】

- ① 簡単登録シートにデータを直接入力する場合、意図的な操作をしない限り TAB 文字や改行文字 (コード) がデータの中に含まれることはありません。
- ② パソコンで管理している既存の商品マスターから簡単登録シートにデータを貼り付ける際に、基データに TAB 文字や改行文字 (コード) が含まれている場合に、簡単登録シートにも TAB 文字や改行文字 (コード) が含まれたまま貼り付けられる可能性があります。

【別表1】 JICFS/IFDB の商品情報登録に使用できる IBM 拡張文字²

JIS 第 1 水準、第 2 水準に含まれる文字の他、以下のコード表に記載されている、「IBM 拡張文字」を使用可能です。

文字コード	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
FA40	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x	I	II	III	IV	V	VI
FA50	VII	VIII	IX	X									續	襲	鋏	銚
FA60	𪛇	𪛈	𪛉	𪛊	精	銀	鼻	𪛋	𪛌	𪛍	𪛎	𪛏	𪛐	𪛑	𪛒	𪛓
FA70	𪛔	𪛕	𪛖	𪛗	𪛘	𪛙	𪛚	𪛛	𪛜	𪛝	𪛞	𪛟	𪛠	𪛡	𪛢	
FA80	𪛣	𪛤	𪛥	𪛦	𪛧	𪛨	𪛩	𪛪	𪛫	𪛬	𪛭	𪛮	𪛯	𪛰	𪛱	𪛲
FA90	𪛴	𪛵	𪛶	𪛷	𪛸	𪛹	𪛺	𪛻	𪛼	𪛽	𪛾	𪛿	𪜀	𪜁	𪜂	𪜃
FAA0	𪜄	𪜅	𪜆	𪜇	𪜈	𪜉	𪜊	𪜋	𪜌	𪜍	𪜎	𪜏	𪜐	𪜑	𪜒	𪜓
FAB0	𪜔	𪜕	𪜖	𪜗	𪜘	𪜙	𪜚	𪜛	𪜜	𪜝	𪜞	𪜟	𪜠	𪜡	𪜢	𪜣
FAC0	𪜥	𪜦	𪜧	𪜨	𪜩	𪜪	𪜫	𪜬	𪜭	𪜮	𪜯	𪜰	𪜱	𪜲	𪜳	𪜴
FAD0	𪜶	𪜷	𪜸	𪜹	𪜺	𪜻	𪜼	𪜽	𪜾	𪜿	𪝀	𪝁	𪝂	𪝃	𪝄	𪝅
FAE0	𪝇	𪝈	𪝉	𪝊	𪝋	𪝌	𪝍	𪝎	𪝏	𪝐	𪝑	𪝒	𪝓	𪝔	𪝕	𪝖
FAF0	𪝘	𪝙	𪝚	𪝛	𪝜	𪝝	𪝞	𪝟	𪝠	𪝡	𪝢	𪝣				
FB40	𪝥	𪝦	𪝧	𪝨	𪝩	𪝪	𪝫	𪝬	𪝭	𪝮	𪝯	𪝰	𪝱	𪝲	𪝳	𪝴
FB50	𪝶	𪝷	𪝸	𪝹	𪝺	𪝻	𪝼	𪝽	𪝾	𪝿	𪞀	𪞁	𪞂	𪞃	𪞄	𪞅
FB60	𪞇	𪞈	𪞉	𪞊	𪞋	𪞌	𪞍	𪞎	𪞏	𪞐	𪞑	𪞒	𪞓	𪞔	𪞕	𪞖
FB70	𪞘	𪞙	𪞚	𪞛	𪞜	𪞝	𪞞	𪞟	𪞠	𪞡	𪞢	𪞣	𪞤	𪞥	𪞦	
FB80	𪞨	𪞩	𪞪	𪞫	𪞬	𪞭	𪞮	𪞯	𪞰	𪞱	𪞲	𪞳	𪞴	𪞵	𪞶	𪞷
FB90	𪞹	𪞺	𪞻	𪞼	𪞽	𪞾	𪞿	𪟀	𪟁	𪟂	𪟃	𪟄	𪟅	𪟆	𪟇	𪟈
FBA0	𪟊	𪟋	𪟌	𪟍	𪟎	𪟏	𪟐	𪟑	𪟒	𪟓	𪟔	𪟕	𪟖	𪟗	𪟘	𪟙
FBB0	𪟚	𪟛	𪟜	𪟝	𪟞	𪟟	𪟠	𪟡	𪟢	𪟣	𪟤	𪟥	𪟦	𪟧	𪟨	𪟩
FBC0	𪟪	𪟫	𪟬	𪟭	𪟮	𪟯	𪟰	𪟱	𪟲	𪟳	𪟴	𪟵	𪟶	𪟷	𪟸	𪟹
FBD0	𪟺	𪟻	𪟼	𪟽	𪟾	𪟿	𪠀	𪠁	𪠂	𪠃	𪠄	𪠅	𪠆	𪠇	𪠈	𪠉
FBE0	𪠊	𪠋	𪠌	𪠍	𪠎	𪠏	𪠐	𪠑	𪠒	𪠓	𪠔	𪠕	𪠖	𪠗	𪠘	𪠙
FBF0	𪠚	𪠛	𪠜	𪠝	𪠞	𪠟	𪠠	𪠡	𪠢	𪠣	𪠤	𪠥	𪠦			
FC40	𪠪	𪠫	𪠬	𪠭	𪠮	𪠯	𪠰	𪠱	𪠲	𪠳	𪠴	𪠵	𪠶			

² なお、別表1記載の IBM 拡張文字を異なる文字コードで表現した、「NEC 選定 IBM 拡張文字」も利用可能です（登録時に、IBM 拡張文字として扱われます）。

4. データチェック方法

(1) データのエラー確認

データチェック

① データチェック機能の利用方法

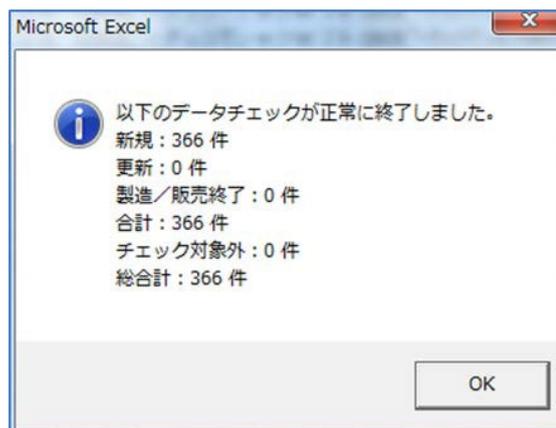
- データシートへの入力完了したら、入力シートの先頭にある「データチェック」ボタンをクリックして下さい。必要なデータが誤りなく入力されているかどうかをご確認いただけます。
- チェックは1行ごとに行われます。
- 入力内容に誤りがある場合、該当行の左端にエラー番号が赤字で表示され、該当データが赤字で表示されます。入力が必要な項目にデータが入力されずに空白になっている場合には、該当項目に赤字で「未入力」と表示されます。

② エラーが表示された場合の対応方法

- エラー番号が表示されている行と項目を確認して下さい。
- エラー番号に従ってエラー内容を確認し、該当項目を修正します。
- エラー内容の詳細は巻末の「添付 1:エラー番号一覧表」をご参照下さい。

修正が完了したら再度「データチェック」ボタンをクリックして下さい。

全てのエラーがなくなると、「以下のデータチェックが正常に終了しました。」のメッセージが表示されます。



(2)チェック項目と内容

- 簡単登録シートでは、入力された各項目に対して、以下の6種類のチェックを行っています。
- エラー番号の詳細は、「添付1:エラー番号一覧表(P.40)」をご参照下さい。

エラー番号	項目	チェック内容
10	JANコード	未入力チェック
		属性チェック(全角/半角)
		属性チェック(文字数)
		JANコードのチェックデジット(CD)チェック
20	必須項目(黄色の項目)	未入力チェック
		属性チェック(全角/半角)
		属性チェック(文字数)
30	任意項目(グレー色の項目)	属性チェック(全角/半角)
		属性チェック(文字数)
40	定義コード項目	範囲チェック
50	ITFコード項目 ※「商品入数」と「箱区分」はITFコードが入力されている場合のみチェックされます。	属性チェック(全角/半角)
		属性チェック(文字数)
		ITFコードのチェックデジット(CD)チェック
		範囲チェック
		関連項目チェック
60	関連項目	関連項目チェック

5. 入力説明

項目番号ごとに入力の説明をしていきます。この項目番号は紙ベースの登録票「JICFS/IFDB 登録票」の項目番号に対応しています。

① データの種類（文字種:半角数字 文字数:1） **必須項目**

該当するデータの種別を入力して下さい。

データの種別	説明
1	新商品等未登録の商品情報を登録する場合
2	既に登録されている商品情報の内容を変更する場合
9	既に登録されている商品が「製造終了」または「販売終了」となった場合
入力無し (Null データ)	チェック対象外のデータ

② JANコード（文字種:半角数字 文字数:8 or 12 or 13） **必須項目**

登録対象となるコードは下記になります。

- JAN/EAN 標準コード（13桁）
- JAN/EAN 短縮コード（8桁）
- UPC 標準コード（12桁）
- UPC 短縮コード（8桁）

③ 商品区分（文字種:半角数字 文字数:2） **必須項目**

下記のうち、登録する商品が該当する商品区分コード（2桁）を入力して下さい。

商品区分 コード	商品区分	説明
00	一般	一般の商品
01	P B	プライベートブランド 卸売業や小売業等流通業者が企画し、生産させた商品 (複数の小売業で販売されている)
03	業務用	業務用の商品
09	その他	一般、P B、業務用以外の商品

④ 商品名(漢字)(文字種:全角 文字数:25 以内) **必須項目**

消費者が貴社と他社の類似商品とを区別ができるように、商品名を全角(漢字、ひらがな英数文字等)で以下の三要素(「メーカー略称/ブランド名」、「商品固有名称」、「内容量/規格」)に分け、25文字以内で入力して下さい。

なお、三要素はそれぞれを「△(スペース)」で区切って、以下の通り入力して下さい。

商品名(漢字): メーカー略称/ブランド名△商品固有名称△内容量/規格

 詳細は【入力例】をご参照下さい。

(1) メーカー略称/ブランド名

消費者がメーカーやブランドを識別するための「メーカー名(メーカー略称名)」または「ブランド名」を入力して下さい。

ヒント メーカー名の省略のポイント

- 商品名称を25文字以内に収めるためにメーカー名を省略する必要がある場合には、下線部分から先に省略して下さい。

○○工業、△△製作所、○△食品、○×製菓、△○薬品、××商店

【入力例】

会社名	省略した会社名
流開食品工業(株)	流開食品
	流食

(2) 固有商品名称

- 商品の固有名称を入力して下さい。
- シリーズ商品等は区別ができるように、色、味、香り等の商品属性もできるだけ入力して下さい。
- 品番、型番等が入りきらない場合は、「⑰ 商品コメント欄」へ入力して下さい。

(3) 内容量/規格

- ・消費者が商品を購入する際の見安となる内容量または規格を入力して下さい。

【入力例】

商品の分野	入力例
食品 日用品 (日用雑貨、医薬品、化粧品等の消耗品)	原則として内容量・内重量を入力します。 100g、1.5kg、250ml、1.8L、 90g×5袋、350ml×6缶、 10+1枚入等
日用品(消耗品以外) 文化用品 耐久消費財 衣料・身の回り品	原則として個数または規格を入力します。 2個、2枚、3本、5袋、3組、 S、M、L、10冊、25cm、24.5EE、 30m×2本等

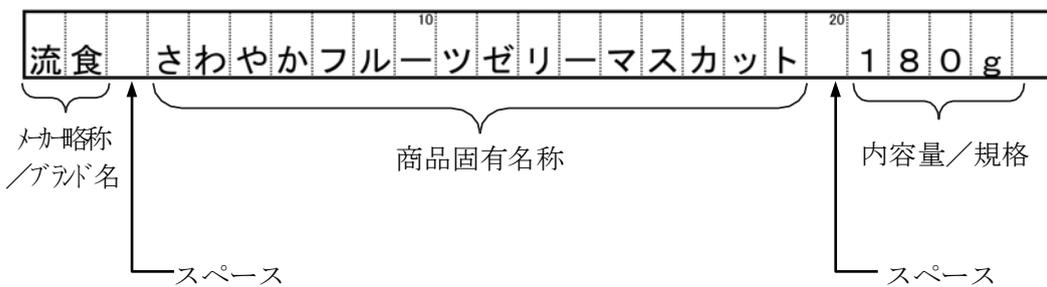
【商品名(漢字)の入力例①】

⇒ブランド名が「ない」場合

メーカー名称	流開食品工業(株)
ブランド名	なし
商品固有名称	さわやかフルーツゼリーマスカット
内容量/規格	180g



商品名(漢字)の入力例



- ☞ メーカー名称が長いので「メーカー略称/ブランド名」には、省略したメーカー名称の「流食」で入力

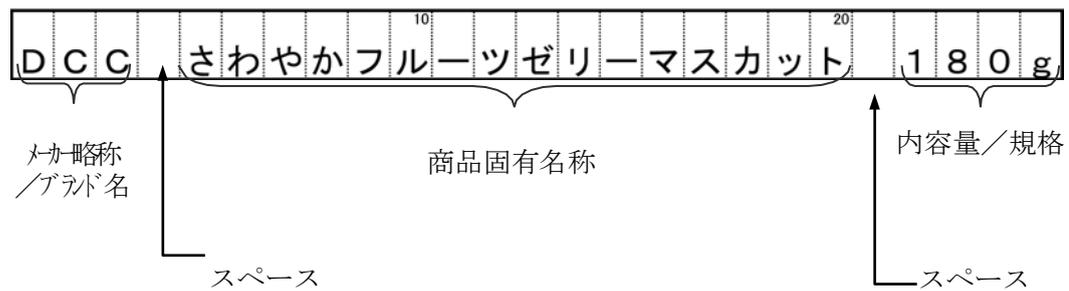
【商品名(漢字)の入力例②】

⇒ブランド名が「ある」場合

メーカー名称	流開食品工業(株)
ブランド名	DCC
商品固有名称	さわやかフルーツゼリーマスカット
内容量/規格	180g



商品名（漢字）の入力例



⑤ 商品名(カナ) (文字種:半角 文字数:25 以内) 必須項目

「商品名（カナ）」には、商品名（漢字）に入力したものを、三要素を含めて半角（カタカナ英数文字）、25文字以内で入力して下さい。

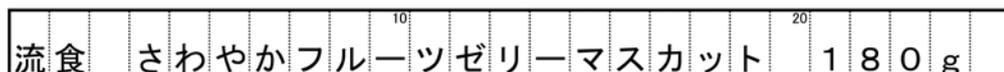
【商品名（カナ）の入力例①】

⇒ブランド名が「ない」場合

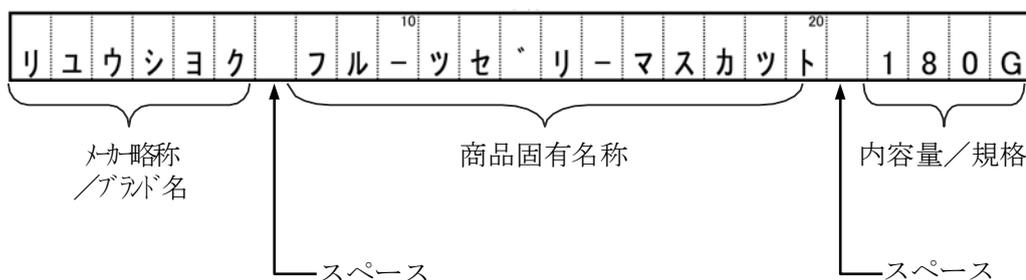
メーカー名称	流開食品工業（株）
ブランド名	なし
商品固有名称	さわやかフルーツゼリーマスカット
内容量／規格	180g



商品名（漢字）の入力例



商品名（カナ）の入力例



商品名（漢字）をカタカナにした際に、25文字を超える場合には、商品名が分かるように省略して25字以内に入力して下さい。

【商品名（カナ）の入力例②】

⇒ブランド名が「ある」場合

メーカー名称	流開食品工業（株）
ブランド名	DCC
商品固有名称	さわやかフルーツゼリーマスカット
内容量／規格	180g



商品名（漢字）の入力

D C C さわやかフルーツゼリーマスカット 180g



商品名（カナ）の入力例

D C C フルーツゼリーマスカット 180G

メーカー略称
／ブランド名

商品固有名称

内容量／規格

スペース

スペース

☞ 商品名称（漢字）をカタカナにした際に、25文字を超える場合には、商品称が分かるように省略して25文字以内に入力して下さい。

⑥ POSレシート名(漢字)(文字種:全角 文字数:14以内) 必須項目

- ・ POSレシートに漢字で商品名称を表示するための商品略称です。
- ・ 全角(漢字、ひらがな等)で、商品名(漢字)の「商品固有名称」を14文字以内に省略して入力します。

【POSレシート名(漢字)の入力例】

メーカー名称	流開食品工業(株)
ブランド名	なし
商品固有名称	さわやかフルーツゼリーマスカット
内容量/規格	180g



商品名(漢字)の入力

流食	10	さわやかフルーツゼリーマスカット	20	180g
----	----	------------------	----	------



POSレシート名(漢字)の入力例

フル	10	ーツゼリーマスカット
----	----	------------

👉 14文字に入らない場合の省略方法

商品名(漢字)の「商品固有名称」が14文字を超える場合には、
商品の形状を表す部分を残すようにします。

(例)

・商品固有名称

さわやかフルーツゼリーマスカット

・POSレシート名(漢字)

フルーツゼリーマスカット

※「マスカット」という商品の特徴を残します。

~~さわやかフルーツゼリー~~

※「さわやか、甘い、辛い等」は省略します。

⑦ POSレシート名(カナ) (文字種:半角 文字数:14 以内) 必須項目

- ・ POSレシートにカタカナで商品名称を表示するための商品略称です。
- ・ 半角(カタカナ、英数文字)で、商品名(カナ)の「商品固有名称」を14文字以内に省略して入力します。

【POSレシート名(カナ)の入力例】

メーカー名称	流開食品工業(株)
ブランド名	なし
商品固有名称	さわやかフルーツゼリーマスカット
内容量/規格	180g



商品名(漢字)の入力

流食	さわやか	フ	ル	ー	ツ	ゼ	リ	ー	マ	ス	カ	ツ	ト	1	8	0	g
----	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



商品名(カナ)の入力

リ	ュ	ウ	シ	ヨ	ク	フ	ル	ー	ツ	ゼ	リ	ー	マ	ス	カ	ツ	ト	1	8	0	G
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



POSレシート名(カナ)の入力例

フ	ル	ー	ツ	ゼ	リ	ー	マ	ス	カ	ツ	ト
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

⑧ 価格情報

価格情報は、「オープン価格フラグ」、「メーカー希望小売価格」、「消費税区分」の3項目で構成されます。

「オープン価格フラグ」の値が1の場合、他の2項目に入力する値は自動的に決まります。

⑧-1 オープン価格フラグ(文字種:半角数字 文字数:1)

オープン価格フラグ	説明
0	メーカー希望小売価格あり
1	オープン価格

※「オープン価格フラグ」を1に設定した場合は「消費税区分」は1に設定して下さい。

⑧-2 メーカー希望小売価格（文字種:半角数字 文字数:8 以内）

メーカー希望小売価格を入力して下さい。

- ※ 「オープン価格フラグ」を 1 に設定した場合は「メーカー希望小売価格」は入力不要です。

⑧-3 消費税区分（文字種:半角数字 文字数:1）

下記の内、商品の税区分に該当する、消費税区分コード（1桁）を入力して下さい。

消費税区分コード	消費税区分	備考
1	総額（税込）	
2	不課税	対価の支払いを伴わない商品是不課税です ³ 。 例：無償で消費者に提供する非売品、POP 等の販促物など
3	非課税	国税庁により「課税対象になじまないものや社会政策的配慮から消費税を課税しない」と定められた商品是非課税です。 例：プリペイドカード・商品券、一定の身体障害者用物品など
9	本体（税抜）	

- ※ 「オープン価格フラグ」を 1 に設定した場合は「消費税区分」は 1 に設定して下さい。
※ 「消費税区分」が不明の場合は、0 を設定して下さい。

⑨ JICFS分類コード（文字種:半角数字 文字数:6） **必須項目**

JICFS/IFDB で設定している商品分類（カテゴリー）を表すコードで、JICFS/IFDB の商品情報を検索／収集するためのキーとなる項目です。

- ・ 「JICFS 分類基準書」（別紙）をご参照の上、ふさわしいものを選んで下さい。
- ・ 該当する分類コードが分からない場合は JICFS/IFDB コードセンターへお問い合わせ下さい。

- 「JICFS 分類基準書」（別紙）は以下の URL からダウンロードできます。

URL : https://www.gs1jp.org/assets/img/pdf/1312jicfs_bunrui-kijyunsho.pdf

³ 【補足：不課税・非課税について】詳しくは、国税庁の以下の URL をご参照ください。

URL : <https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/shohi/6209.htm>

⑩ 総内容量情報

小売業において、食品や日用品（消耗品）の 1g、1ml 当たりの販売価格（ユニットプライス）を算出するため等に利用される項目です。

「総内容量」と「総内容量単位コード」の 2 つの項目で構成されます。

総内容量情報を登録する場合、必ず 2 つの項目をご入力ください。

⑩-1 総内容量（文字種：半角数字 文字数：7 以内）

総内容量を数値で入力します。

⑩-2 総内容量単位コード（文字種：半角数字 文字数：3）

「総内容量」の単位をコードで入力します。

⇒ 日用品の一部、家庭用品、文化用品、耐久消費財等、商品によっては無理に設定する必要はありません。

【入力例】

商品	総内容量	総内容量単位コード
袋麺 250g×3食	750	001
飲料 200ml	200	101
洗剤 1.5kg	1500	001

<単位コード表>

	単位	単位コード		単位	単位コード		単位	単位コード
重量 単位	g	001	そ の 他 単 位	インチ	206	そ の 他 単 位	箱	513
	kg	002		フィート	207		台	514
	mg	003		m ²	301		丁	515
	ポンド	004		cm ²	302		足	516
	オンス	005		mm ²	303		カプセル	517
容量 単位	ml	101		枚	501		膳	518
	l	102		個	502		人前	519
	kl	103		本	503		食	520
	cc	104		冊	504		斤	521
	ガロン	105		ページ	505		反	522
	cm ³	106	束	506	かせ	523		
	km ³	107	袋	507	双	524		
その他 単位	cm	201	粒	508	帖	525		
	m	202	錠	509	切	526		
	km	203	巻	510	株	527		
	mm	204	包	511	ダース	528		
	ヤード	205	組	512	片	529		

⑪ 容器形態コード (文字種:半角数字 文字数:2)

小売店の店頭で商品が陳列される際の容器形態をコードで入力して下さい。

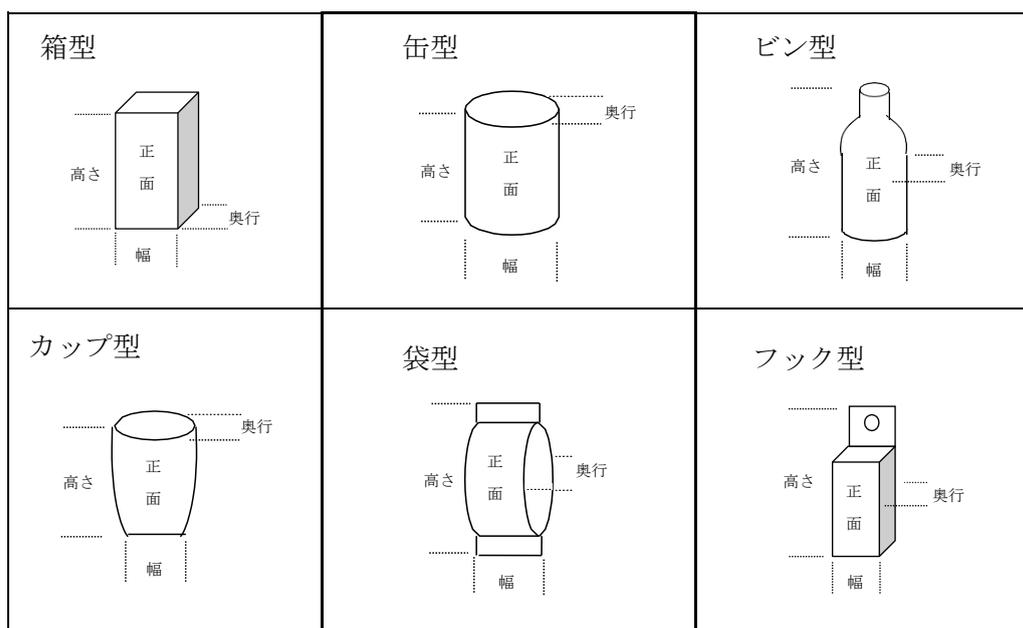
容器形態コード	容器形態	補足説明 (商品例、素材等)
01	袋	紙袋、ポリ袋、ナイロン袋など
03	ビン	ガラスビンなど
05	ボトル	ポリボトル、プラスチックボトルなど
07	カップ	カップ麺、プリン、ヨーグルトなど
09	パック	牛乳パック、紙パック、レトルトパック、プリスターパック、真空パック、など
11	チューブ	マヨネーズ、ケチャップなど
13	箱	紙箱、プラスチック箱、木箱など
15	缶	アルミ缶、スチール缶、ブリキ缶など
17	トレー	発泡スチロール製の皿など

- ⑫ 棚割サイズ(幅) (文字種:半角数字 文字数:4 以内)
- ⑫ 棚割サイズ(高さ) (文字種:半角数字 文字数:4 以内)
- ⑫ 棚割サイズ(奥行) (文字種:半角数字 文字数:4 以内)

小売業における棚割計画や卸売業等による棚割提案に利用される項目です。消費者が店頭で商品を正面から見た場合のサイズを、幅、高さ、奥行の順に入力して下さい。

⇒ 単位 = mm (小数点以下切り上げ)

<単品サイズの基準例>



⑬ 商品発売開始日（文字種:半角数字 文字数:8）

- ・ 商品の発売開始日を西暦8桁で入力して下さい。
- ・ 既に発売中の商品については入力不要です。
- ・ 「年月日」が不明な場合には「年月」または「年」のみ（不明な部分は0）を入力して下さい。

【入力例】

2011年 10月 1日の場合 ⇒ 入力：20111001
「年月」のみの場合 2011年10月 ⇒ 入力：20111000
「年」のみの場合 2011年 ⇒ 入力：20110000

⑭ 商品製造／販売終了日情報

商品の製造／販売が中止になった場合に入力します。「商品製造／販売終了日コード」と「商品製造／販売終了日」の2項目から構成されます。

⑭-1 商品製造／販売終了日コード（文字種:半角数字 文字数:1）

商品の製造／販売が中止になった場合には、製造／販売中止フラグに「1」を入力して下さい。

フラグ	説明
0	製造または販売している
1	製造・販売中止

⑭-2 商品製造／販売終了日（文字種:半角数字 文字数:8）

- ・ 商品の製造／販売終了日を西暦8桁で入力して下さい。
- ・ 「年月日」が不明な場合には「年月」または「年」のみ（不明な項目は0）を入力して下さい。

【入力例】

2011年 8月 20日の場合 ⇒ 入力：20110820
「年月」のみの場合 2011年10月 ⇒ 入力：20111000
「年」のみの場合 2011年 ⇒ 入力：20110000

⑮ 情報公開可能日（文字種:半角数字 文字数:8）

- ・ JICFS/IFDB に登録する商品情報について、一般への公開日を指定する場合は商品のプレス発表日等の日付を西暦8桁で入力して下さい。
- ・ 「情報公開可能日」が指定された場合は、JICFS/IFDB では「情報公開可能日」が到来するまで登録された商品情報は外部に公開されません。

※ 情報公開可能日が未入力の場合、商品発売開始日が未来日であっても、登録処理完了後、直ちに商品情報が公開されますので、ご注意ください。

⑯ ITF コード情報

- ・ 当該商品の集合包装（段ボール箱等）に対して、ITF コードが設定されている商品の場合は入力して下さい。
- ・ ITF コード情報は「ITF コード」、「箱区分」、「商品入数」の3項目で構成されています。
- ・ 外箱・内箱共に ITF コードが設定されている場合等、一つの商品に対して複数の ITF コードが設定されている場合は、簡単登録シートに入力したデータを別の行にコピーし、ITF コード情報の部分を書き換えて、それぞれの ITF コード情報を入力してください。
- ・ 当該商品の集合包装が消費者購入単位となるため、JAN コードが別途設定されている場合（ケース販売用 JAN コード、ケース JAN と呼ばれます）は、ケース JAN の先頭に“0”を付加したコードを、ITF コードとして設定します。

⑯-1 ITF コード（文字種:半角数字 文字数:14 or 16）

ITF コードを入力して下さい。

⑯-2 箱区分（文字種:半角数字 文字数:1）

- ・ 集合包装の「外箱」「内箱」の区分を識別するコードを入力します。
- ・ 集合包装が1種類しか無く、外箱・内箱という種類が無い場合は「0」を入力します。

箱区分コード	箱区分
0	外箱（ケース）
1	内箱（ボール）

⑯-3 商品入数（文字種:半角数字 文字数:4 以内）

- ・ 外箱または内箱当たりの商品の入数を入力して下さい。

⑰ 商品コメント（文字種:全角／半角 文字数:200 以内）

商品の説明として、商品特性、セールスポイント、ターゲット、用途等を入力して下さい。

⇒ 品番、型番等で商品名に入りきらない場合、商品コメント欄に入力して下さい。

⑱ メーカー自社商品コード（文字種:半角 文字数:20 以内）

メーカー自社商品コードまたは品番、型番等を入力して下さい。

6. 更新(登録済商品情報の修正・変更)データの作成方法

(1)更新データ作成上の注意

JICFS/IFDBでは、独自の整備基準に基づいて登録データの整備を行っておりますが、基本的にメーカー様から申請された登録情報を反映させることとしています。

従って、簡単登録シートにおいても、メーカー様が入力された情報を取り込み、また、入力されていない項目もそのまま空欄として反映しています。

これを踏まえ、簡単登録シートを利用して、すでに JICFS/IFDB に登録されている商品の内容を修正・変更する場合には下記の点に注意が必要です。

- ① 既存の登録内容を十分に確認の上、どこをどのように修正するかを把握してから作業に当たってください。万一、誤った更新内容に置き変わった場合、JICFS/IFDB を利用している卸売業、小売業等で混乱を来す原因となります。
- ② 簡単登録シートに更新情報をご入力の際は、修正が必要な項目だけではなく、新規登録と同様、登録する全ての項目を入力して下さい。特に、価格、容量、棚割サイズ、ITF 情報等、必須ではない任意項目には注意が必要です。
万一、すでに登録されていた項目を空欄にして更新情報を作成すると、空欄がそのまま反映され、既に登録済みの情報が削除されてしまいます。
- ③ 更新情報は、修正・変更が必要な商品情報だけをお送り下さい。既に JICFS/IFDB に登録されている商品情報に対して、価格、容量、棚割サイズ、ITF 情報等の任意項目を追加する場合も更新・変更対象となります。

(2)更新データの作成方法

具体的な更新データの作成方法は「8. (2) 登録情報検索サービスのログイン(P.36)」以降をご参照ください。

7. 登録に関するQ&A

ジクフス/アイエフデービー

Q-1. JICFS/IFDB への登録はいつすればよいのですか？

- ・ JICFS/IFDB への新商品情報のご登録は、商品へのソースマーキング完了後（手配ができた後）に、可能な限り新商品を市場に出される前にご登録頂くようご協力ください。
- ・ なお、新商品を市場に出される前に JICFS/IFDB へのご登録が難しい場合は、市場に出された後でのご登録も可能です。

Q-2. 商品が製造／販売終了（終売）になった時は？

- ・ 小売業や卸売業において、商品の製造・発売終了情報は、商品管理や商品マスター整理などの業務で重要な情報となります。
- ・ 商品が製造／販売終了になった時は、既にお送りいただいている簡単登録シートのデータの控えにおける当該商品の「データの種類」を「9」とし、「商品製造／販売終了日」を記入の上、mcc@jicfs.jp宛に簡単登録シートをご送付下さい。
- ・ 簡単登録シートのデータの控えがない場合は、「8. 登録情報検索サービスのデータを利用する」（本書 34 ページ）の手順を基に、現在 JICFS/IFDB に登録されている商品情報一覧を簡単登録シートに取り込むことができます。

Q-3. 商品の内容が変更になった時は？

- ・ 定番商品、キャンペーン商品に限らず、商品の名称、デザインなどが変更になった場合は、全て新しく JAN コードを設定し直した上で JICFS/IFDB コードセンターまでご連絡ください。
- ・ JAN コードの設定にあたっては、以下の項目のいずれか一つでも異なる場合は、JANコードを変更することが基本です。

（項目）	（例）
商品名が異なる場合	○○シャンプー、 ××シャンプー
希望小売価格が異なる場合	100 円売り、500 円売り
素材（原材料）が異なる場合	コーヒー（ブラジル産、ジャワ産）
サイズが異なる場合	大袋、中袋、小袋
容量が異なる場合	100g 入り、200cc 入り
包装形態が異なる場合	袋物、缶詰、瓶詰
色が異なる場合	ピンク、ブルー、ホワイト
味が異なる場合	カレー味、バーベキュー味
香りが異なる場合	ジャスミン、ブーケ
販売単位が異なる場合	3 個入り、5 個入り
セット商品で価格または中身（組合せ）が異なる場合	調味料 2 ケと食用油 3 本入りセット 調味料 3 ケと食用油 2 本入りセット

※ 既存商品で仕様や容量、品名が変わった場合も新たに設定します。

Q-4. 一度使ったJANコードを別の商品に再度利用したいのですが、どうしたら良いですか？

- ・GTIN（JANコード）の再利用は原則認められておりません。詳しくは以下のURLにある「GTIN再利用停止について」をご参照ください。

URL : https://www.gs1jp.org/standard/identify/gtin/non_reuse_rule.html

【Q-3,Q-4 補足】

- ・JANコード/ITFコードの設定ルールについては、「GTIN設定ガイドライン～GTINアロケーションガイドライン改訂版～」をあわせてご参照ください。
- ・「GTIN設定ガイドライン～GTINアロケーションガイドライン改訂版～」は、当財団のホームページの以下のURLからダウンロード可能です。

URL : https://www.gs1jp.org/standard/identify/gtin/gtin_guide.pdf

Q-5. 輸入商品を登録する時は？

- ① 米国、カナダ以外の国の商品（EANコード）
JANコードの場合と同様、標準13桁（短縮の場合は8桁）を左詰めで記入してください。
- ② 米国、カナダの商品（UPCコード）
原則として標準12桁、短縮8桁を左詰めで記入してください。

【ご注意】

- ※ EAN/UPCコードを登録する場合、自社の海外現地法人による商品である等、当該商品に対して「自社の商品」として扱うことができるものについてのみ、登録することができます。単なる輸入者として、他社の商品を登録することはできません。
- ※ EAN/UPCコードを登録しても、「登録情報検索サービス」によって登録した商品情報を確認することはできません。

8. 登録情報検索サービスのデータを利用する

既に JICFS/IFDB へ自社の商品情報を登録している場合、そのデータを簡単登録シートに取り込んで、登録内容の変更／修正をすることが可能となっています。

既に登録されている自社の商品情報は、当財団ウェブサイトにある「JICFS/IFDB登録情報検索サービス」から、ダウンロードが可能です。

なお、「JICFS/IFDB 登録情報検索サービス」を利用するには、まず利用申し込みを行う必要があります。

(1) 登録情報検索サービスへの申し込み

登録情報検索サービスの申し込みは、以下の2通りの申し込み方法があります。

- ① 初めて JICFS 簡単登録シートを mcc@jicfs.jp 宛に送付する際に、ID、パスワードの発行を希望する。【方法1】
- ② JICFS/IFDB 登録情報検索サービスログイン画面にある、「利用申し込み」ボタンから、必要事項を入力して申し込む。【方法2】

自社の商品情報をこれまで一度も登録したことのない方

→ 【方法1】でのお申し込みをお願い致します。

過去に、FAX 等によって JICFS/IFDB 登録票を送付いただいたことのある方

→ 【方法1】、【方法2】いずれの申し込みでも申し込み可能です。

【方法1】による申し込み

- ① 6 ページに記載されている、「③メール本文の内容」のうち、

8) 登録情報検索サービスの利用を「希望する」または「希望しない」

という項目を、「希望する」としていただくことにより、申し込みとなります。

- ② 登録情報検索サービスが利用可能となり次第、ID、パスワードの通知書類を、登録担当者様宛に送付致します（必要に応じて、申し込みについての確認のご連絡を入れさせていただく場合がございます）。

【方法2】による申し込み

- ① https://www.gs1jp.org/database_service/jicfsifdb/service.htmlを開きます。
- ② 利用規約をご確認の上、[登録情報検索サービス ログイン画面へ]のリンクをクリックします。
- ③ JICFS/IFDB 登録情報検索サービスログイン画面が表示されるので、画面右下にある「利用申し込み」ボタンをクリックします。



- ④ 「利用申し込み」ボタンをクリックすると、必要事項を入力する画面が表示されます。※ のついている項目は必須項目となるので、全てご入力ください。
- ⑤ 個人情報の取り扱いについてご確認いただき、「同意する」にチェックを入れた上で、「確認画面へ」ボタンをクリックします。



- ⑥ 確認画面に表示された内容に入力ミスがないかを確認し、正しく入力されている

ことが確認できましたら、**送信** ボタンをクリックします。

メーカーコード*	456995111
会社名*	一般財団法人流通システム開発センター
所 属	流通標準本部データベースセンター
氏 名*	流通 三四郎
郵便番号*	107-0052
都道府県*	東京都
住所 1*	港区赤坂7-3-37
住所 2	ブラス・カナダ3F
T E L*	03-5414-8515
F A X*	03-5414-8511
メールアドレス*	jicfs@dsri.jp

- ⑦ 登録情報検索サービスが利用可能となり次第、ID、パスワードの通知書類を、登録担当者様宛に送付致します（必要に応じて、申し込みについての確認のご連絡を入れてさせていただくことがございます）。

(2) 登録情報検索サービスのログイン

登録情報検索サービスが利用可能となると、ID、パスワードの通知書類が、登録担当者様宛に送付されます^{4,5}。

- ① <https://www.jicfs.jp/kensaku/>を開きます。
- ② 送付されてきた ID,パスワードを入力し、**送信** ボタンを押します。

HOME | 登録情報検索サービス JICFS/IFDB

HOME

お知らせ

<商品情報をダウンロードされる方へ>

- ・商品情報のダウンロード前に、商品情報検索画面でダウンロードデータを作成して下さい。（詳細は利用ガイドをご確認ください）。
- 利用ガイドダウンロードURL

<https://www.jicfs.jp/kensaku/guide.html>

- ・ダウンロードファイルファイルの作成を行うことにより、最新の登録状況が反映されます。

メンテナンス情報

以下の時間帯はシステムのメンテナンス処理等のため登録情報検索サービスはご利用いただけません。

平日の月～金 24:00～25:00

サポート窓口

GS1 Japan（一般財団法人流通システム開発センター）
JICFSグループ
電話：03-5414-8515 Fax：03-5414-8514
e-mail：jicfs@gs1jp.org
受付時間：月～金 10:00～17:00（土日祝日：休業）

⁴ ID、パスワードの通知は紛失したり、第三者に知られることのないようご注意ください。

⁵ ID、パスワードがわからなくなってしまった場合には、以下お問合せフォームよりお問い合わせください。

<お問合せフォーム> <https://www.gs1jp.org/questionnaires/detail/53a705a4-d958-426b-98af-e8d134160ec7>

(3) 商品情報のダウンロード

登録情報検索サービスにログインして表示される画面の左側に [MENU] が表示されています。

- ① [MENU] の中にある **商品情報検索** ボタンをクリックし、JICFS商品検索画面を表示します。全件の商品情報をダウンロードする場合は検索条件を未入力状態で **商品情報をダウンロード(出力)** をクリックしてください。

※検索条件を入力した状態で出力をすると、検索結果の商品情報を出力できます。



- ② ①の手順後、商品情報ダウンロード画面が表示されます。当画面では①で出力した商品情報のダウンロードデータの作成履歴を一覧に表示しています⁶。

「作成完了日時」を確認した上で指定の行のダウンロードデータに対して **ダウンロード** ボタンをクリックするとJICFSに登録されている自社の商品情報がファイルでダウンロードされます。

なお、ダウンロードしたファイルは開かずに保存してください。

ファイルを開いて保存した場合、(4)のダウンロードファイルの取り込み手順で正しく取り込めない場合がございます。



⁶ ダウンロードデータの作成履歴は、最大 3 件まで表示されます。

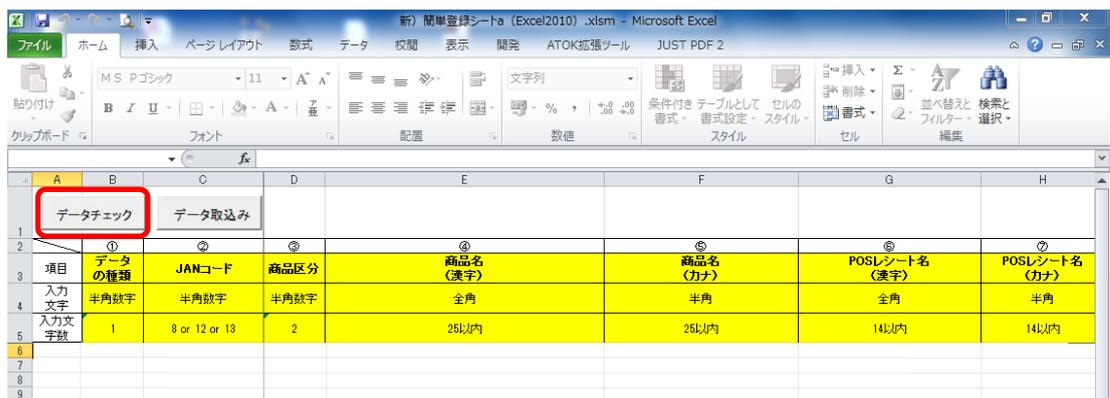
(4)ダウンロードしたデータを簡単登録シートに取り込む

- ① 簡単登録シートを準備してください。簡単登録シートは以下のURLからダウンロードできます。

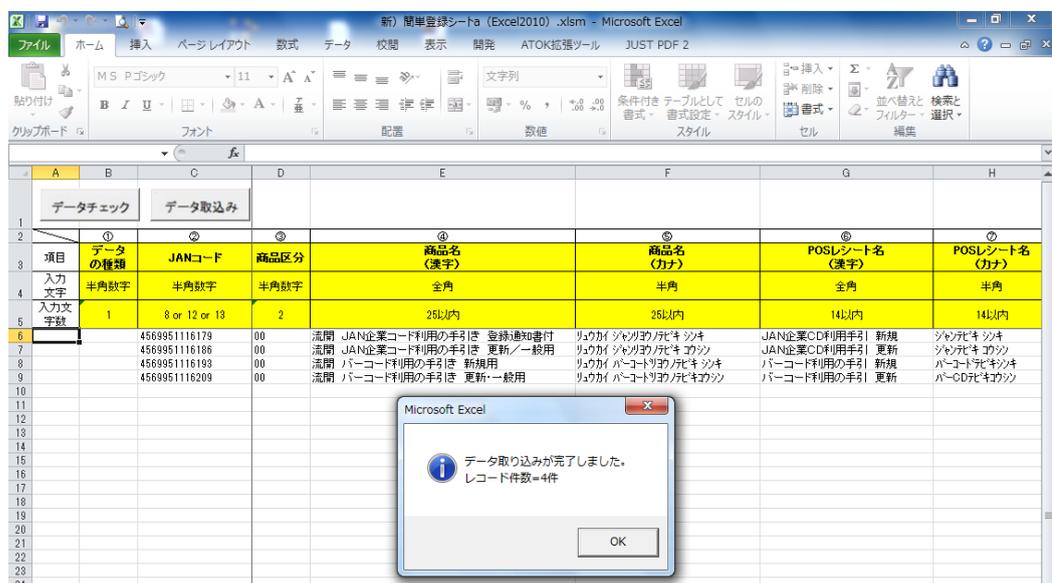
URL : <https://www.jicfs.jp/kensaku/guide.html#no5>

<既存の簡単登録シートを利用する場合の注意>

- ・ 入力シートにL列：税率区分項目、M列：一体資産フラグ項目がない場合、簡単登録シートの旧フォーマットをご利用されている可能性がございます。
旧フォーマットでデータを取り込むと異なる列に情報がセットされてしまいます。該当する場合は上記より簡単登録シートの最新フォーマットをダウンロードし、ご利用ください。
 - ・ 既存の簡単登録シートに取り込む場合は入力されたデータが削除されてしまいますので、取り込む前に「名前をつけて保存」で、別の名前をつけてファイルのバックアップをとってください。
- ② ダウンロードしたデータを簡単登録シートに取り込むには、簡単登録シートの入力シート上にある、「データ取込み」ボタンをクリックします。



- ③ 取り込むファイルを選択するためのダイアログボックスが開きますので、ダウンロードしたデータを選択し、「開く」ボタンをクリックします。
- ④ 取込が完了すると、データ取込件数が表示されます。



<注意>

- ① 取込後のデータにおいては、項目名「データの種別」は、全て空白となっています。
登録内容の変更/修正を行うデータについては、「2（半角）」、製造終了もしくは
販売終了となるデータについては、「9（半角）」を入力してください。

項目	データの種別	JANコード	商品区分	商品名 (漢字)	商品名 (カナ)	POSレシート名 (漢字)	POSレシート名 (カナ)	
入力文字	半角数字	半角数字	半角数字	全角	半角	全角	半角	
入力文字数	1	8 or 12 or 13	2	25以内	25以内	14以内	14以内	
		569951116179	00	流開 JAN企業コード利用の手引き 登録通知書付	リョウカイ ジョウシヨウノビキ シキ	JAN企業CD利用手引	新規	ジョウシヨウノビキ
		569951116186	00	流開 JAN企業コード利用の手引き 更新/一般用	リョウカイ ジョウシヨウノビキ コウシン	JAN企業CD利用手引	更新	ジョウシヨウノビキ
		569951116193	00	流開 バーコード利用の手引き 新規用	リョウカイ バークードリョウノビキ シキ	バーコード利用の手引	新規	バークードリョウノビキ
		569951116209	00	流開 バーコード利用の手引き 更新/一般用	リョウカイ バークードリョウノビキ コウシン	バーコード利用の手引	更新	バークードリョウノビキ

添付 1:エラー番号一覧表

エラー番号	項目	チェック内容	エラー内容	対応方法
10	JAN コード	未入力チェック	JAN コードが入力されていません。	「未入力」と表示されている箇所に JAN コードを入力して下さい。
		属性チェック (全角/半角)	入力された JAN コードが半角英数字ではありません。	半角英数字で JAN コードを入力して下さい。
		属性チェック (文字数)	入力された JAN コードの文字数が正しくありません。	<ul style="list-style-type: none"> • JAN(EAN)コードは標準 13 桁、短縮 8 桁です。 • UPC コードは標準 12 桁、短縮 8 桁です。
		JAN コードのチェックデジット (CD)チェック	入力された JAN コードの CD が正しくありません。	<ul style="list-style-type: none"> • 正しい CD を入力して下さい。 • なお、CD の計算方法については当財団のホームページをご参照下さい。 • CD 自動計算ページ(JAN コード、ITF コードのチェックデジット計算方法の確認：https://www.gs1jp.org/code/jan/check_digit.html)
20	必須項目 (黄色の項目)	未入力チェック	入力されていない必須項目があります。	「未入力」と表示されている箇所に該当データを入力して下さい。
		属性チェック (全角/半角)	必須項目に入力されたデータの文字が正しくありません。	赤字で表示されている箇所のデータを「入力項目一覧表 ⁷ 」に基づいて正しい文字に修正して下さい。
		属性チェック (文字数)	必須項目に入力されたデータの文字数が正しくありません。	赤字で表示されている箇所のデータを「入力項目一覧表」に基づいて正しい文字数に修正して下さい。
30	任意項目 (グレー色の項目)	属性チェック (全角/半角)	必須入力でない項目に入力されたデータの文字が正しくありません。	赤字で表示されている箇所のデータを「入力項目一覧表」に基づいて正しい文字で修正して下さい。
		属性チェック (文字数)	必須入力でない項目に入力されたデータの文字数が正しくありません。	赤字で表示されている箇所のデータを「入力項目一覧表」に基づいて正しい文字数に修正して下さい。
40	定義コード項目	範囲チェック	入力されたデータが定義されている範囲の値ではありません。	赤字で表示されている箇所のデータを「入力項目一覧表」に基づいて正しい値に修正して下さい。

⁷ P42,P43 をご参照ください。

エラー番号	項目	チェック内容	エラー内容	対応方法
50	ITFコード項目 ※「商品入数」と「箱区分」はITFコードが入力されている場合のみチェックされます。	属性チェック (全角/半角)	ITFコード項目に入力されたデータの文字が正しくありません。	赤字で表示されている箇所のデータを「入力項目一覧表」に基づいて正しい文字に修正して下さい。
		属性チェック (文字数)	ITFコード項目に入力されたデータの文字数が正しくありません。	赤字で表示されている箇所のデータを「入力項目一覧表」に基づいて正しい文字数に修正して下さい。
		ITFコードのチェックデジット (CD)チェック	入力されたITFコードのCDが正しくありません。	<ul style="list-style-type: none"> 正しいCDを入力して下さい。 なお、CDの計算方法については当財団のホームページをご参照下さい。 CD自動計算ページ(JANコード、ITFコードのチェックデジット計算方法の確認: https://www.gs1jp.org/code/jan/check_digit.html)
		範囲チェック	入力されたデータが定義されている範囲の値ではありません。	赤字で表示されている箇所のデータを「入力項目一覧表」に基づいて正しい値に修正して下さい。
		関連項目チェック	ITFコードにデータが入力されている時に、箱区分、商品入数にデータが入力されていません。	「未入力」と表示されている箇所に該当データを入力して下さい。
60	関連項目	関連項目チェック	<ul style="list-style-type: none"> 関連する項目にデータが入力されていません。 関連する項目に適切なデータが入力されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> 「未入力」と表示されている箇所に該当データを入力して下さい。 赤字で表示されている箇所のデータを「入力項目一覧表」に基づいて正しい値に修正して下さい。

添付 2: 簡単登録シート入力項目一覧表

No.	項目名	全角	半角	入力文字	文字数	項目説明
1	データの種類		○	数字	1	<ul style="list-style-type: none"> ・1: 新商品等、未登録の商品情報を登録する場合 ・2: 既に登録されている商品情報の内容を変更する場合 ・9: 既に登録されている商品が「製造終了」または「販売終了」となった場合 ・(空白): 登録/更新対象外
2	JANコード		○	数字	8 or 12 or 13	<ul style="list-style-type: none"> ・必須項目 ・JAN/EAN 標準コード(13桁) ・JAN/EAN 短縮コード(8桁) ・UPC 標準コード(12桁) ・UPC 短縮コード(8桁)
3	商品区分		○	数字	2	<ul style="list-style-type: none"> ・必須項目 ・00: 一般 ・01: PB(プライベートブランド) ・03: 業務用 ・09: その他(EOS用、資材等)
4	商品名(漢字)	○		漢字 英数 カナ	25以内	<ul style="list-style-type: none"> ・必須項目 ・伝票(統一伝票)等での表示用商品名称
5	商品名(カナ)		○	英数 カナ	25以内	<ul style="list-style-type: none"> ・必須項目 ・伝票(統一伝票)等での表示用商品名称
6	POSレシート名(漢字)	○		漢字 英数 カナ	14以内	<ul style="list-style-type: none"> ・必須項目 ・POSやEOS(ハンディターミナル用)等での表示用商品名称
7	POSレシート名(カナ)		○	英数 カナ	14以内	<ul style="list-style-type: none"> ・必須項目 ・POSやEOS(ハンディターミナル用)等での表示用商品名称
8	オープン価格フラグ		○	数字	1	<ul style="list-style-type: none"> ・0: オープン価格でない ・1: オープン価格
9	メーカー希望小売価格		○	数字	8	<ul style="list-style-type: none"> ・オープン価格フラグが0の時、データ入力必須 ・オープン価格フラグが1の時、データ入力不要
10	消費税区分		○	数字	1	<ul style="list-style-type: none"> ・オープン価格フラグが0、メーカー希望小売価格にデータ入力時、データ入力必須
11	JICFS分類		○	数字	6	<ul style="list-style-type: none"> ・必須項目 ・商品の検索や集計等に使用、プログラム等の商品のくくりとしても使用

No.	項目名	全角	半角	入力文字	文字数	項目説明
12	総内容量		○	数字	7 以内	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットプライス算出用(1g あたり、1ml あたり等)、マーケティング分析用 ・総内容量単位コードとセットでデータ入力されていることが必要
13	総内容量単位コード		○	数字	3	<ul style="list-style-type: none"> ・総内容量の単位を ml、g、本、枚、個、粒等で指定 ・総内容量とセットでデータ入力されていることが必要
14	容器形態コード		○	数字	2	<ul style="list-style-type: none"> ・棚の陳列時の容器形態(原則として外装) マーケティング分析、棚割システムに利用 ・定義コード(01、03、05、07、09、11、13、15、17)
15	棚割サイズ(幅)		○	数字	4 以内	・単位 = mm(小数点以下切り上げ)
16	棚割サイズ(高さ)		○	数字	4 以内	・単位 = mm(小数点以下切り上げ)
17	棚割サイズ(奥行)		○	数字	4 以内	・単位 = mm(小数点以下切り上げ)
18	商品発売開始日		○	数字	8	・商品の発売開始年月日
19	商品製造/販売終了日コード		○	数字	8	<ul style="list-style-type: none"> ・0:製造・販売中商品 ・1:製造・販売終了商品
20	商品製造/販売終了日		○	数字	8	・商品の製造/販売終了日
21	情報公開可能日		○	数字	8	・発売に先んじて登録する場合、情報公開日の指定が必要な場合に設定
22	ITF コード		○	数字	14 or 16	<ul style="list-style-type: none"> ・段ボール等の集合包装に ITF コードが付いている商品の場合に入力。 ・ケースJAN が設定されている場合は、ケース JAN の先頭に“0”を付加したコードとなる。
23	箱区分		○	数字	1	<ul style="list-style-type: none"> ・外箱、内箱の区分 ・0:外箱(ケース) ・1:内箱(ボール) ・ITF コードにデータ入力時、データ入力必須
24	商品入数		○	数字	4 以内	<ul style="list-style-type: none"> ・JAN コードで示される商品の入数。ケースJAN の場合は”1” ・ITF コードにデータ入力時、データ入力必須
25	商品コメント	○	○	漢字 英数 カナ	200 以内	・原材料、成分表示、商品特徴等の他、キャンペーン情報や案内等を記述
26	メーカー自社商品コード		○	英数 カナ	20 以内	・メーカー自社商品コードまたは品番、型番等

J I C F S / I F D B 簡単登録シート Ver.3.2 (登録の手引き)

平成 26 年 7 月 初 版

平成 29 年 8 月 第 2 版

令和 6 年 9 月 第 3 版

編集・発行 GS1 Japan (一般財団法人 流通システム開発センター)

データベース事業部 JICFS担当

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館9F

TEL:03-5414-8515 FAX:03-5414-8514